

## 表面処理の違い

### 症例の幅を拡大する2つの表面性状

プラトンシステムは、症例に応じて選択可能な表面性状の異なる2タイプ（B i O・S A G）をラインナップしています。このうち、当社独自の技術である熱分解法による薄膜HAコーティング” B i O”は、埋入初期ではハイドロキシアパタイトの骨伝導能により早期の骨結合を促し、その後ハイドロキシアパタイトが骨に吸収置換されチタンと骨が直接結合する” アクティブインテグレーション” インプラントです。

骨質が不良な部位・症例におけるインプラント施術は術者にとって高いストレスとなるため、「埋入時に初期固定が得られない」「軽度の骨欠損が存在している」などのケースに有効な” B i O” を症例に応じた選択肢のひとつとしてご提案しています。

また、チタンサーフェイスの” S A G”（Sand-blasting+Acid Etching+Glow Discharge Treatment）では、半導体のウエファーのクリーニングに採用されている” G D T”（グロー放電処理）を採用し高いレベルでの洗浄度を保っています。

